

紙飛行機作成方法（F - 14）

1. 型紙をケント紙に印刷する。
（各ページにある四角は、すべて同じ大きさに設定しています。2枚が同じ大きさに印刷されているか確認してください）
2. 各部品を切り離す。
（細かな部品もありますので怪我をしないように注意してください）
3. 図のように組み立てる。
図中の黄色は接着するところです
（接着にはセメダインCをおすすめします）
4. 機種におもり（クリップ等）をつけて重心を合わせる。
重心を合わせるときは翼をいっぱいまで開いた状態（最前進位置）で行ってください
5. 水平尾翼の後端を少し上にそらせる。
6. テスト飛行をして、水平尾翼,垂直尾翼を調整する。

以上で完成です。

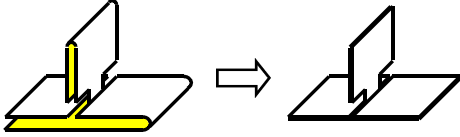
この飛行機は可変翼となっています。翼を閉じた状態（最後退位置）でも飛ばすことはできますが、飛行性能は落ちます。またその際は若干の重心位置の調節が必要です。

紙飛行機を飛ばす場合は、他人の迷惑にならない安全な場所で行ってください。

F - 14 組立図

スライダの組立

スライダを図のように折り曲げて接着する



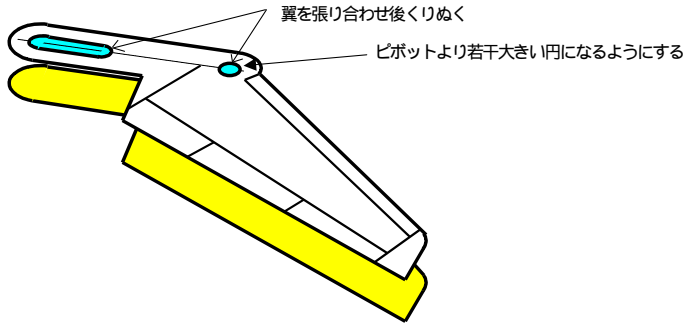
ピボットの組立 (2組作成)

図のように貼り合わせる (精度が要求されますので2枚張り合わせ後に切り抜くことをおすすめします)



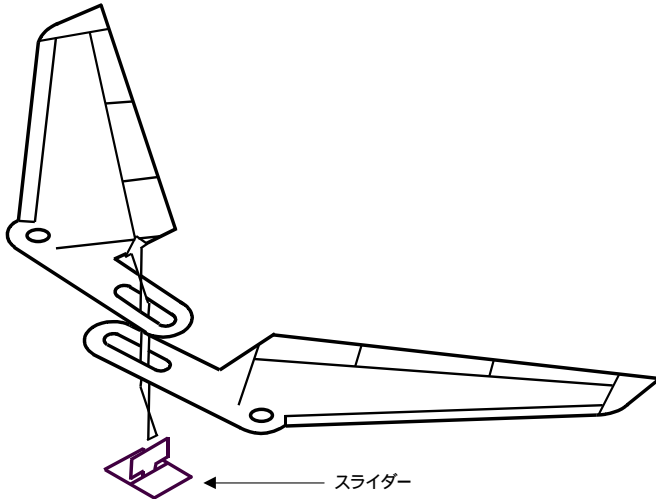
外翼の組立 (2組作成)

外翼を図のように貼り合わせ後、水色部分を切り抜く



外翼の組立

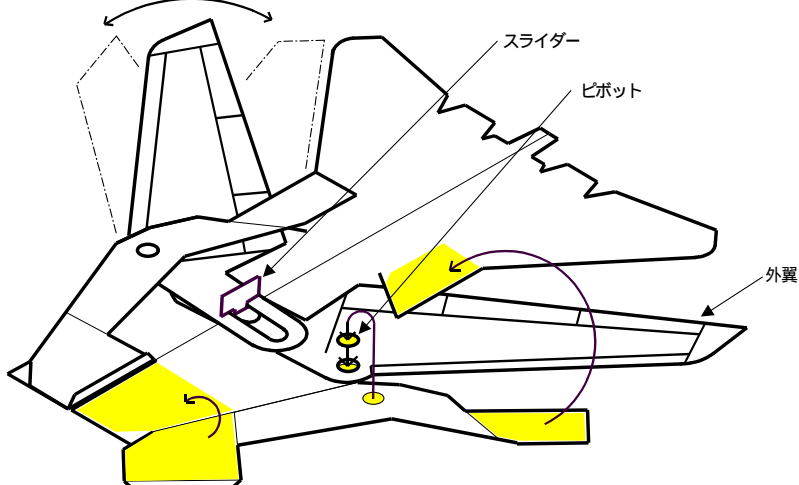
外翼にスライダを組み付ける (接着はしない)



翼の組立

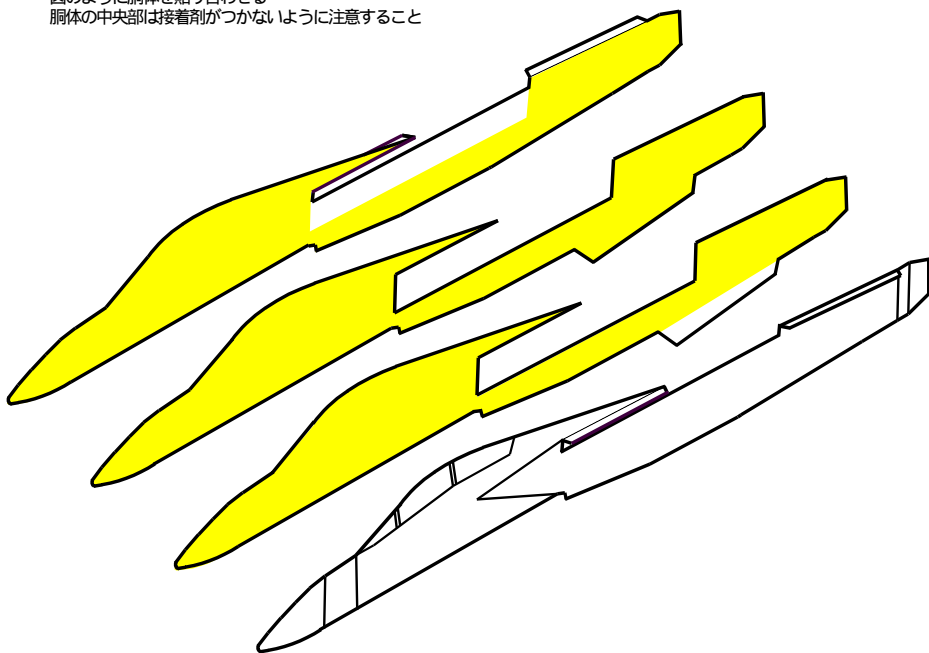
図のように外翼とピボットを内翼に挟み込むように組み立てる
このとき外翼とスライダには接着剤がつかないように注意する事

翼がスムーズに動くこと



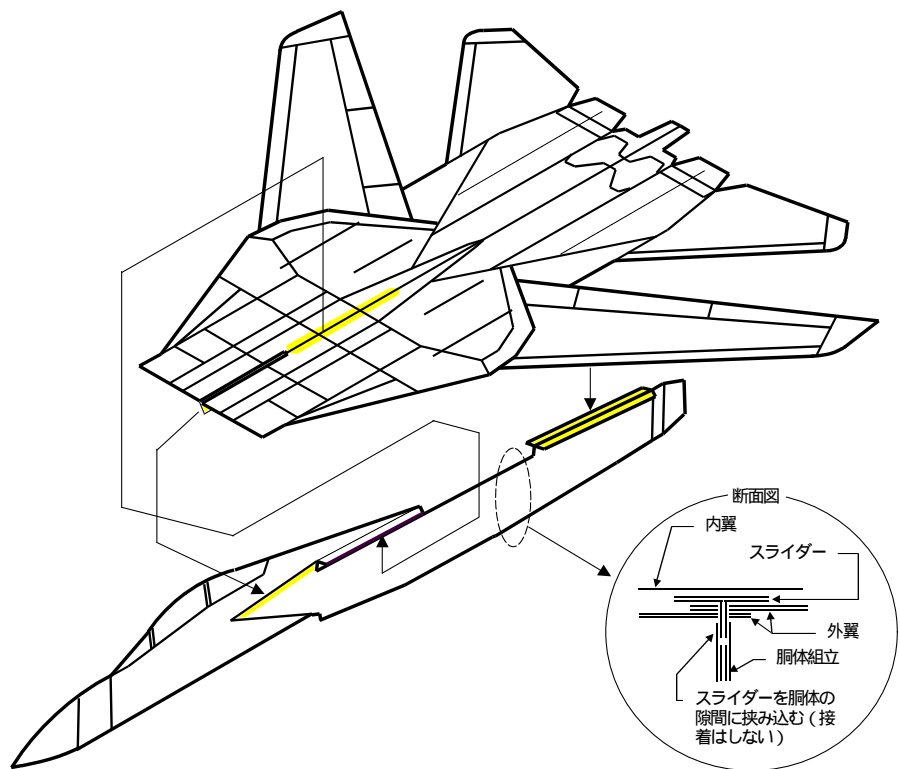
胴体の組立

図のように胴体を貼り合わせる
胴体の中央部は接着剤がつかないように注意すること



翼と胴体の組立

図のように胴体に翼を接着する（スライダーには接着剤をつけないこと）
このときスライダーが胴体の隙間に挟まれるようにする
ここで外翼を動かしてみて左右が運動すればほぼ完成です



垂直尾翼の取り付け
図のように垂直尾翼を貼り合わせてから翼に接着する

